



2025 年度 関西学生バスケットボール 秋季トーナメント

I 大会要項

1. 名 称 : 2025 年度 関西学生バスケットボール 秋季トーナメント
2. 主 催 : 一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟
一般社団法人関西学生バスケットボール連盟
3. 後 援 : 一般社団法人近畿バスケットボール協会
引越し革命株式会社
4. 協 賛 : 株式会社モルテン
5. 期 日 : 2025 年 11 月 22 日、23 日、24 日、11 月 29 日、30 日、12 月 6 日、7 日
6. 会 場 : 各大学体育館
7. 参加資格 : 2025 年度 (一社)関西学生バスケットボール連盟 所属チーム・所属選手
2025 年度 所属府県協会 登録チーム・登録選手
(同一チーム複数参加を認めない)
8. 競技規則 : 現行の「(公財)日本バスケットボール協会競技規則」を適用する。
9. 競技方法 : 勝ち上がりトーナメント方式を行う。
(3 位決定戦のみ行う。)
10. 組み合わせ : 当連盟の責任抽選で組み合わせを決定する。
(インカレに出場する 6 チームは各チームの判断で出場可能)
11. 大会概要 : 今大会は三年生以下の大会にする。また今大会は次年度の全国新人戦の予選ではない。

II 大会規則



1. ゲームエントリー	<ul style="list-style-type: none">●スタッフのゲームエントリーは事前にロスター入りされた「部長」と、「副部長・総監督・監督・コーチ・Aコーチ・学生コーチ・トレーナー・主務・MG・コンディショニングスタッフ(2名以内)」の中から6名の計7名までとする。 * MGについてはエントリーできる人数に制限は設けない。 * コンディショニングスタッフの登録は選手でも可能とする。 * 部長が当日会場に来場されない場合は部長を除き、7名までベンチ登録することができる。 但し、来場されない場合でも必ずエントリーしなければならない。 ●ゲームエントリー締め切り後のスタッフ・選手の追加・変更は一切認めない。また番号の変更も認めない。 ●ベンチの最大人数は22名までとする。 ●スタッフ・選手の役職・番号変更は大会期間中に1回まで行うことができる。 ●当日、試合のベンチに入ることができる選手は15名以内とする。 ●外国籍選手について、当日のエントリーは2名までとし、競技中コート上で同時にプレイできる外国籍選手は1名とする。 ●当日、ベンチに入るスタッフ・選手のゲームエントリーは試合開始予定時刻の30分前までに当連盟指定のゲームエントリーデータを印刷したものを大会本部に提出した後、スコアシートにメンバーを記入すること。 *大会当日は、JBA登録証(コピー可)及びエントリーカードを必ず持参すること。
2. ユニフォーム	<ul style="list-style-type: none">以下のユニフォーム規定は「2025年度 関西学生バスケットボール 秋季トーナメント」のみ適用され、「第77回全日本大学バスケットボール選手権大会」等のユニフォーム規定は、別途定められる。 ●ユニフォームは原則としてタイムスケジュールの組み合わせの左側に表記されているチームが淡色(白色)、右側に表記されているチームが濃色を着用する。 ●エントリーフレーム番号は00番、0番、及び1~99番を用い、大会期間中は各自の登録番号を着用する。 (同一チーム内で00番と0番を同時にゲームエントリーすることを認める。) ●ゼッケンやリバーシブルの使用、テーピング等で改造されたユニフォームの使用は認めない。 ●指定された番号以外のユニフォームを着て試合に出場することは認めない。 *出場した場合は、発覚した時点で即退場及びベンチテクニカルを科す。 ●ユニフォームは、チーム全員が同じ色・形の物を着用すること。 ●ユニフォームの下にTシャツを着ることは禁止する。 ●サポーターについて次のものは身につけても差し支えない。 -十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具。 -アームスリーブで、シャツと同じ主となる色か黒色か白色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。 -脚のコンプレッションスリーブで、パンツと同じ主となる色か黒色か白色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。 -ヘッドギアで、シャツと同じ主となる色か黒色か白色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。顔の一部(目、鼻、唇等)あるいは全部を覆うものは、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。また顔や首の開閉部分や表面に突起物があつてはならない。 -膝の装具で、適切にカバーされているもの。●上記に反するサポーター様のもの(金具・プラスチックが付いたもの、極端に大きなものなど、競技上危険を伴うものを含む)を着用する場合は、当連盟指定の用紙で申請を行うことで着用を認める。●それ以外の規定については、当連盟が定めた規定に基づくこととする。
3. ベンチ	<ul style="list-style-type: none">●タイムスケジュールの組み合わせの左側に表記されているチームがTO席に向かって右側とする。●ベンチにはゲームエントリーされた選手及び、スタッフ以外入ることができない



	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none">試合の指揮を務めるものが、試合開始 5 分前までにスターティングメンバーを T.O に報告し、サインすること。
4. T.O・S.S	<ul style="list-style-type: none">T.O および S.S は全ゲーム当連盟の指定により行う。(組み合わせで確認のこと)T.O および S.S に割り当てられているチームは必ず試合開始 20 分前 までに集合し、T.O は 7名 (T.O 4名・TO 主任 1名・モッパー2名) S.S は 2名 で行うこと。
5. ウォーミングアップ	<ul style="list-style-type: none">第 1 試合のウォーミングアップについては、入口で受付を終えてからコートでのアップを認める。ボールを使用できるのは 60 分前 からとする。 * 但し、会場設営が終了していない場合は終了次第認める。その他の試合のウォーミングアップについては、当連盟の指定した場所で行うこと。全ディビジョンにおいて、ハーフタイムアップは試合を行っている両チームのみのアップ時間とする。棄権が起きたコートでのアップは次ゲームの定刻 20 分前からとし、そのコートでのボールの使用も 20 分前からとする。
6. ゲーム開始	<ul style="list-style-type: none">ゲーム開始は、原則として定刻通りに開始する。但し、前ゲームが定刻に終了しない場合は前ゲーム終了 15 分後 に開始する。次ゲーム開始までの時間は、前ゲームのチームが撤収しだいウォーミングアップを 15 分間行った後、試合を開始する。
7. 外国籍選手	<ul style="list-style-type: none">競技中にコート上でプレーできる外国籍選手は各チーム 1名 とする。
8. 棄権	<ul style="list-style-type: none">参加確定後、何らかの理由で止むを得ず棄権する場合には、早急に当連盟に連絡すること。 * その際、振り込まれた参加費は返金できないので注意すること。棄権が認められる状況は下記の通りである。<ol style="list-style-type: none">怪我や体調不良によりプレー可能な選手が 4 名以下の場合新型コロナウイルス感染症又はインフルエンザと診断された者が 1 人以上おり、さらにチームにおける「新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・かぜ」による体調不良者が 20% 以上存在する場合 * 上記による棄権は証明書類（例：診断書、領収書）の提出を義務付ける。試合開始予定時刻より 15 分遅れた場合は棄権とみなす。無断で棄権した場合は、当連盟理事会にて処分を決定する。チームが急な事故等に遭い棄権する場合は、至急当連盟に連絡すること。なお、その対応 については当理事会で審議する。
9. 注意事項	<ul style="list-style-type: none">試合球は当連盟の用意した 12 面体球(B7G5000)を使用する。各チーム、試合後に当連盟指定の BOX スコア記入用紙を提出すること。試合中・アップ中の松脂の使用及びフロアを汚す可能性のある物の使用は一切認めない。選手は指輪・ピアス・ヘアピンなど危険と思われるものは身につけないこと。選手・スタッフはタトゥーを露出した状態での試合参加を禁止する。万が一タトゥーがある場合は、テaping 等で隠すなどの対応をする。イン・アウト用のシューズの区別をはっきりさせること。* スリッパ等シューズ以外の者は認めない。
10. その他	<ul style="list-style-type: none">第 1 試合の会場に入場できる時間は自試合の 90 分前とする。指定された場所以外での更衣は一切禁止とする。各会場への車やバイク等の車両の乗り入れは禁止とする。会場で発生したゴミは各自で持ち帰ること。貴重品の管理は各チームで行うこと。 * 万が一、盗難・紛失等があった場合も当連盟は責任を負わない。各会場での忘れ物・落し物等があった場合、2 週間当連盟で保管した上で、持ち主が現れなければ、当連盟が責任をもって処分する。各施設の利用規則を厳守すること。 <p>上記の規定にない競技上の問題およびトラブルが生じた場合は、当連盟理事会の裁定に従うこと。</p>



	<p>また、指導が必要な事象に関しては、当連盟より処分を通知する。</p>
--	---------------------------------------